令和６年度　埼玉県高等学校PTA連合会
家庭教育専門委員会研修会　参加報告

開催日　令和6年11月５日（火）　13:30～15:30
会　場　埼玉会館　小ホール
主　催　埼玉県高等学校PTA連合会
参加者　長坂・成田・小坂・岡

【実践発表】

・東部支部…埼玉県立草加南高等学校
「子供と保護者の学校生活についての認識から考える家庭教育とPTAの役割」
コロナ禍を契機にPTAの組織改編、活動内容の精選を行った。令和5年度は、生徒・保護者を対象に「学校生活についての認識」をテーマにアンケートを行った。

・西部支部…埼玉県立川越南高等学校「家庭教育とPTA」
「できる人が、できるときに、できることを」を活動理念にPTA活動を行っている。令和5年度は、全校生徒と保護者を対象に「食」をテーマの講演を実施し、親と子がそれぞれの立場で考える機会を得た。

・南部支部…埼玉県立上尾南高等学校「家庭教育とPTA」
保護者・生徒に共通した意識アンケート調査を実施。
また、学校説明会にて入学前の保護者対象に「在校保護者による相談コーナー」を設置。

・北部支部…埼玉県立鴻巣高等学校「鴻巣高校の家庭教育とPTA」
近隣5校による交流会（ソフトバレーボール大会）を実施。コロナ後は幹事校を中心としてPTA各部の情報交換を行っている。役員の負担軽減を考えて行事を一つ一つ見直し、活動の動画配信を行うなど工夫したやり方の模索を続けている。

【講　評】　埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課社会教育主事兼指導主事　加藤　隆　様

・埼玉県立草加南高等学校
⇒組織改編では希望性の学校活動サポーターを新設するなど、PTA組織のスクラップ･アンド･ビルドのモデルになると期待する。発表の中であった「保護者は最も身近な社会人」という言葉が印象的。

・埼玉県立川越南高等学校
⇒日常生活の中で子供と保護者が同じテーマで語れることが少ない中、よい話合いの機会を持った。活動理念の「できる人が、できるときに、できることを」には大いに共感する。

・埼玉県立上尾南高等学校
⇒意識調査によりお互いの考えが見える形となって親子で共有できた意義は大きい。学校と家庭の相互の取組の相乗効果。親が教えてきたこと、学校で学んできたことがお子さんに届いていることが見て取れた。

・埼玉県立鴻巣高等学校
⇒全家庭PTA組織加入は生徒の健全育成に繋がっている。また他校との交流が活動に還元できてよい。動画配信により、PTA活動のメリットを丁寧に伝えている。楽しくやってよかったと思えるエ夫が大切。よりよいPTA活動となるよう向き合い続ける姿勢こそ大事だ。

【所　感】
・各学校で行われた特色あるアンケートの結果、分析は大変興味深かった。
質疑応答も熱心で、関心の高さがうかがえた。
・コロナ禍や昨今の情勢を経て、どのPTAも活動や在り方について見直そうと動き出していると感じた。

（文責　　本部）